

とよま地区

復興未来計画

(グランドデザイン)



～若い世代が戻ってこられるまちづくり～

海まち・とよま市民会議
いわき市

平成27年5月

とよま地区復興未来計画（グランドデザイン）について

平成23年3月11日の東日本大震災時に発生した大津波で、とよま地区は甚大な被害を受けました。震災後から沼ノ内・薄磯・豊間の3地区はそれぞれ復興へ向けた取組みを行ってきましたが、平成25年秋にこれら3地区合同の「海まち・とよま市民会議」が発足し、3地区全体の復興へ向けた協議を重ねてきました。そして協議の結果、この市民会議の活動目標を「若い世代が戻ってこられるまちづくり」としました。震災後、とよま地区における人口の流失、特に若い世代・子どもの減少が顕著で、この現状では現在も含め、次世代以降のとよま地区の生活基盤そのものの維持が危惧されるからです。

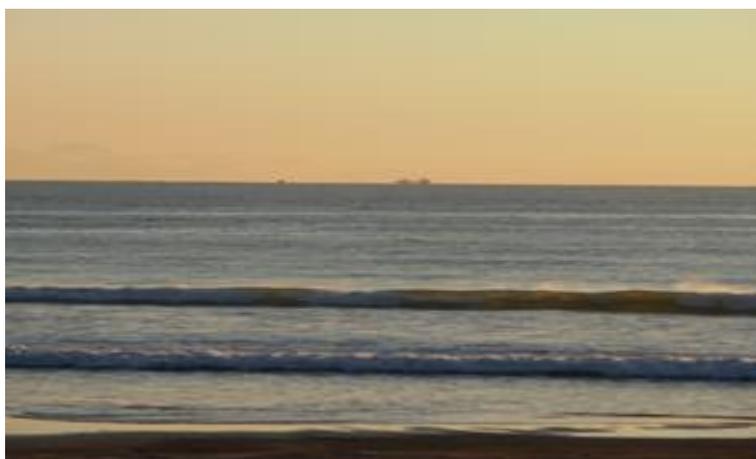
太平洋を望み、自然環境に恵まれたとよま地区は、多くの遺跡や貝塚の調査結果から推測されるように太古の昔から人々の営みが連綿と続いてきた土地です。私たちも震災までは先人達から受け継いできた生活を享受してきました。そして、4年前のあの日、その生活の継続が一端は途切れてしまいましたが、将来に向けて新たな生活の営みを再スタートさせなくてはなりません。そのために必要なアイテムが「安全・安心」・「子育て」・「産業・雇用」・「生活・コミュニティ」・「魅力」・「忘れない」の6つのテーマです。そして、この6つのテーマのもと、ここに私たちが取り組むべき項目をご提案させていただきます。各項目の実現の可能性や重要性・緊急性の差異はありますが、全てとよま地区の再生のために不可欠な項目です。今後、市民会議メンバーをはじめ地区の皆様方のご意見・ご要望等を活かしながら、若い世代の人たち・多くの子どもたちを地区の核とした新たなとよま地区を創生し、次世代に伝えていくことに努めていきたいと思っております。

そして、私たちが協力し合ってこの大震災を乗り越えること自体を、将来のとよま地区の大きな魅力の一つに加えたいと切望しますので、3地区の皆様方の本市民会議活動へのご理解とご指導・ご協力をお願い申し上げます。

※本書の中で「とよま」という言葉は、「沼ノ内・薄磯・豊間」の3地区を表しています。

平成27年5月

海まち・とよま市民会議 会長 瀬谷 貢一



平成23年3月11日 午前6時頃の薄磯の海

目 次

はじめに	1
将来像	2
安全・安心	3
子育て	5
産業・雇用	7
生活・コミュニティ	9
魅力	11
忘れない	13
海まち・とよまの12の提案・プロジェクト	15
提案・プロジェクトを実現するために	16
プロジェクト参加申込書	17
参考資料：海まち・とよま市民会議開催概要	18

●計画策定の背景

- いわき市の沼ノ内・薄磯・豊間の3地区は、太平洋に面し、福島県内随一の海水浴客のあった薄磯海岸を始めとして新舞子海岸や豊間海岸、さらには美空ひばりの歌碑のある白亜の塩屋埼灯台等、風光明媚な住環境に恵まれた地区であり、夏は涼しく冬は暖かく日照条件にも優れた当該地区は暮らしやすくもあり、このような環境に惹かれて移り住む人や週末別荘で過ごす人も多く見られる状況にありました。
- しかしながら、当該3地区は、平成23年3月11日の東日本大震災によって、いわき市内の中でも最も大きな津波被害を受けました。地震・津波が区民に与えた災害への不安に加え、漁業や水産加工業、観光業等の地域の基幹産業に対する原発事故がもたらす風評被害は、地区のそれまでの平穏な暮らしを奪い、多数の区民が他地域への移転を希望する状況を招いており、各地区のコミュニティ維持を困難にさせています。
- そこで、沼ノ内・薄磯・豊間の3地区が一つとなって連携し、10年後、20年後の近い将来に若い人が地域に戻ってくることを目標に掲げ、安全・安心や生活の利便性の向上、産業、交通などのテーマに対して、どのような方向性でまちを築いていくのかといったまちづくり方策を検討し、「とよま地区復興未来計画」としてまとめたものです。また、検討する場として、3地区合同の「海まち・とよま市民会議」が、今後もまちづくりの中心となり、目標の実現に向け、引き続き取り組んでいきます。

●「とよま地区復興未来計画」の見方

- 「とよま地区復興未来計画」に示す取組みについては、主体と取組みの実施時期を次のとおり設定しています。
 - ①主体：行政（市・県・国など）・地区住民・民間（企業・大学・NPO法人など）の3者としています。
 - ②時期：復興土地区画整理事業により全域で住宅の建設が可能となる平成27年度までを短期とし、次の3年を中期、その後、将来的に取り組んでいくものを長期とします。
- 各テーマごとに左側のページ上に「主な取組み」の項目を提示し、右側のページには、これらの項目をさらに具体的にした「分野別の取組み」の項目を掲載してあります。なお、「分野別の取組み」にある丸数字は、「主な取組み」の何番の項目と関連のある項目かを示しています。また、「主な取組み」について、関連性のある他の項目も示しています。
- また、同じく右側のページ下の「これからの主なプロジェクト」には、各テーマの項目の中で、市民会議が特に重要項目であると判断した項目を示しています。

将来像

とよま地区復興未来計画が掲げるとよま地区の将来像

～若い世代が戻ってこられるまちづくり～

安全・安心

～安全だから、安心できる。
安全・安心はまちづくりの基本です。～

子育て

～若い世代が、安心して、子どもを産み
育てることができるまちをつくります。～

産業・雇用

～“とよま”の特色を活かし、
地元で働くことができる生活を再生します。～

生活・コミュニティ

～震災前の絆を取り戻し、
新たなコミュニティで支え合って暮らします。～

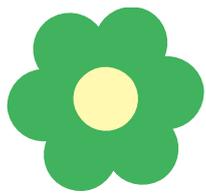
魅力

～震災前にも増して、自然に恵まれ、歴史ある
地区の魅力を再発見・新発見していきます。～

忘れない

～辛い震災を乗り越え、私たちの体験を
決して忘れずに、全国に、後世に伝えます。～

情
報
発
信



安全・安心

安全だから安心できる。
安全・安心はまちづくりの基本です。

主な取組み

取組み	主体			いつ		
	行政	地区住民	民間	短期	中期	長期
				~H27	~H30	H30~
① 防潮堤・防災緑地の整備により、津波からの防災・減災に取り組めます。	●	▲	▲	★		
② 避難路や避難所の整備、避難訓練の継続・徹底、津波体験の共有により、防災意識を高めます。[再掲] (子育て④)	●	●	▲		★	
③ 緊急時の情報が住民に素早く伝わるあらゆる情報伝達に取り組む、災害に強いまちをつくれます。	●	●			★	
④ 安全・安心な住まい環境をつくれます。 [再掲] (生・コミ⑥⑦⑧/魅力②)	●	●			★	
⑤ 地域を守る組織づくりを図り、地域での見守りや助け合いを大切にします。[再掲] (子育て①・/生・コミ⑤)	▲	●			★	
⑥ 医療の確保に向けて取り組めます。[再掲] (子育て⑤)	▲	▲	▲		★	
【情報発信】 地区の方々へ、地区外の方々へとよまの「安全・安心宣言」を行います。	▲	●			★	

<だれが>

色別 青：行政（市・県・国など）、 オレンジ：地区住民、 緑：民間（企業・大学・NPO法人など）

記号 ●：中心主体となっていく、 ▲：参加・協力

<いつ>

短期：～平成 27 年度まで、 中期：平成 28 年度～平成 30 年度、 長期：平成 30 年度～

※「主な取組みの主体・時期」と「分野別の取組みの主体・時期」は、一致しない場合があります。

分野別の取組み

1 津波・地震からの安全・安心

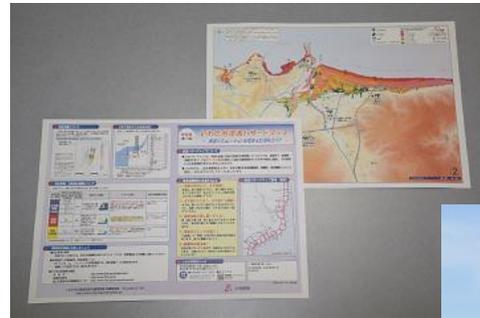
- ①防潮堤・防災緑地の整備
- ②避難路の案内板設置や防災地図の作成
- ②指定避難所の環境整備
- ②防災文化の形成（避難訓練・津波体験など）
- ③情報伝達（防災無線の整備・伝達の仕組み）
- ④地域の住環境整備、生垣や井戸などの検討

3 情報発信 「安全・安心宣言」

- 区民へ安全と安心を説明
- 地区から離れて暮らしている方々へ安全・安心宣言
- 地区外の方々へ安全・安心 PR
- 放射能の情報を提供

2 日々の暮らしの安全・安心

- ④防犯灯や消防詰所の整備
- ⑤地域の自主防災組織の立ち上げ
- ⑤高齢者・子どもを地域で見守る環境づくり
- ⑥医療機関の誘致



津波ハザードマップ暫定版 (H26.11)

沼ノ内海岸の防潮堤 (H26.8)



薄磯地区土地区画整理事業 (H27.4)

これからの主なプロジェクト

取組	1 津波・地震からの安全・安心	2 日々の暮らしの安全・安心	3 情報発信「安全・安心宣言」
プロジェクト	<p>安全/安心</p>  <p>住民みんなが、楽しみながら参加できる避難訓練を考えよう [②防災文化の形成（避難訓練・津波体験など）]</p>	<p>安全/安心</p>  <p>高齢者・子どもを地域で見守る環境づくりを考えよう</p>	<p>安全/安心</p>  <p>地区内外の方々へ、安全・安心をどう伝えるか考えよう</p>

子育て

若い世代が、安心して、子どもを産み育てることができるまちをつくりまします。

主な取組み

取組み	主体			いつ		
	行政	地区住民	民間	短期	中期	長期
				~H27	~H30	H30~
① 集約化された教育拠点を中心に世代間交流を図りながら安全を確保し、地域一丸で子どもを守り育てます。 [再掲] (安・安⑤/生・コミ⑤)	●	●			★	
② 子どもの遊び場・居場所と子どもを守り育てる母親たちの交流の場をつくりまします。	●	●	▲		★	
③ 地域の文化や歴史・伝統を学び、子どもたちの郷土を愛する心を育みます。[再掲] (忘な⑦)	▲	●			★	
④ 避難路を確保し、避難訓練を継続・徹底し、子どもを守る防災教育を充実させます。[再掲] (安・安②)	●	●	▲		★	
⑤ 子ども医療や幼児保育確保に向けて取り組みます。 [再掲] (安・安⑥)	▲	▲	▲		★	
【情報発信】 保育所～小中学校の一貫的な教育をはじめ、充実した子育て環境をPRし、子育て世代を呼び込みます。	▲	●			★	



豊間小学校にて(H23.11)



豊間中学校と豊間小学校の合同避難訓練(左:H27.4 右:H26.9)

分野別の取組み

1 子どもの安全・安心

- ①子育て・教育拠点の集約化
⇒学校が指定避難所なので安全です。
⇒子どもたちが同じ場所にいるので、
親も安心。学校内での避難も、中学生が
園児を助けることもできます。
⇒通学の安全にも配慮します。

①地域一丸で子どもを守り、育てます。

④子どもを守る避難訓練・防災教育

⑤小児科や病児保育の確保

3 情報発信「子育て環境の積極的PR」

○区民へ地域一丸で子どもを守り育てる意識を喚起

○地区から離れて暮らしている方々へ
とよま地区の安心できる子育て環境をPR

○地区外の方々へ安心できる子育て環境をPR

2 子育て環境の充実・魅力

- ①子育て・教育拠点の集約化
⇒中学生は小学生を、小学生は園児を、
年下を思いやる心が育まれます。
⇒保育所→小学校→中学校の進学に伴う
環境の変化にスムーズに対応でき、継
続的な指導ができます。
⇒保育所と児童クラブも併設なので、
兄弟・姉妹の迎えが1か所です。

①地域一丸で子どもを守り、育てます。

②子どもの遊び場・母親の交流の場をつくりま
す。

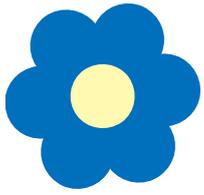
③地域の歴史や伝統文化を学び、郷土心を育み
ます。



豊間中学校と豊間小学校の合同運動会(H26.5)

これからの主なプロジェクト

取組	1 子どもの安全・安心		2 子育て環境の 充実・魅力	3 情報発信「子育て 環境の積極的PR」
プロジェクト	<p>子育て</p>  <p>安全・安心な通学路を考えよう</p>	<p>子育て</p>  <p>子どもたちの医療環境確保に向けて取り組もう [⑤小児科や病児保育の確保]</p>	<p>子育て</p>  <p>おじいちゃん、おばあちゃんが、地域の子どもを預かる仕組みを考えよう [①地域一丸で子どもを守り、育てます。]</p>	<p>子育て</p>  <p>とよまの魅力を活かした、充実した子育て環境を地区内外の方々に発信しよう</p>



産業・雇用

“とよま”の特色を生かし、
地元で働くことができる生活を再生します。

主な取組み

取組み	主体			いつ		
	行政	地区 住民	民間	短期	中期	長期
				~H27	~H30	H30~
① 幅広い産業の振興を図り、雇用創出に取り組みます。	▲	●	●		★	
② 伝統産業の復活・観光振興を通じて地域の活性化を目指します。	▲	●	●	★		
③ 日常生活を支える商業施設などの産業確立に取り組みます。[再掲] (生・コミ③)	▲	▲	●	★		
④ 観光資源を有機的につなげ、魅力を高めます。	●	●	●	★		
⑤ 商品開発により、新たな「とよまブランド」創出に取り組みます。	▲	●	●	★		
⑥ 語り部や防災教育施設の観光資源化への展開に向けた検討に取り組みます。[再掲] (忘な③)	●	●	▲	★		
【情報発信】 とよまの魅力をPRし、観光客などを呼び込みます。	▲	●		★		

分野別の取組み

1 “とよま”の特色を活かした産業再興

- ①水産加工業などの再興
- ②伝統産業の復活
- ⑤商品開発・「とよまブランド」の創出

3 観光産業の復興・振興

- ④観光資源の復興・開発
- ④オールとよまの観光資源の連携
- ④海を生かした観光振興
- ④滞在型観光の確立
- ⑥防災教育の観光資源化・防災教育旅行の誘致

2 新たな産業・雇用の創出

- ①多くの人が地元で働ける環境づくり
- ①保健・福祉関係施設の整備を検討
- ③日常生活を支える商業施設などの確立
- ⑤商品開発・「とよまブランド」力の強化

4 情報発信 「産業復活宣言」

- 区民へ産業再興・雇用の創出を説明
- 地区から離れて暮らしている方々へ「地場産業復活宣言」
- 地区外の方々へ観光やとよまブランドをPR



沼ノ内水祝儀(H27.1)



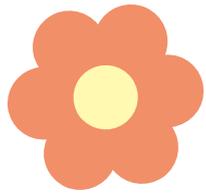
復興商店とよマルシェ
グランドオープン(H27.1)



沼ノ内漁港での第2回親子漁業体験バスツアー(H26.3)

これからの主なプロジェクト

取組	1 “とよま”の特色を活かした産業再興	2 新たな産業・雇用の創出	3 観光産業の復興・振興	4 情報発信 「産業復活宣言」
プロジェクト	<p>産業/雇用</p>  <p>伝統産業・水産加工場や商業施設などを応援しよう [①水産加工業などの再興など]</p>	<p>産業/雇用</p>  <p>3地区共通のロゴを積極的に活用しよう [⑤商品開発・「とよまブランド」力の強化]</p>	<p>産業/雇用</p>  <p>3地区の観光を考えよう 観光ルート、防災(教育)観光など [④観光資源の復興・開発など]</p>	<p>産業/雇用</p>  <p>「とよまの海」の魅力を再確認&活用&みんなにPR 海水浴、サーフィン、鳴き砂など</p>



生活・コミュニティ

震災前の絆を取り戻し、新たなコミュニティで
支え合って暮らします。

主な取組み

取組み	主体			いつ		
	行政	地区 住民	民間	短期 ~H27	中期 ~H30	長期 H30~
① 災害公営住宅での暮らしやすい環境づくりを支援します。	●	●	▲	★		
② 地区内外との移動手段としてバスなどの交通手段の確保に取り組みます。	▲	●	▲		★	
③ 日常生活を支える商業施設などの産業確立に取り組みます。[再掲] (産・雇③)	▲	▲	●		★	
④ 地域の方々が早期に自立再建できるよう支援します。	●	●				★
⑤ 新たなまちの交流・連携・絆づくりに取り組みます。[再掲] (安・安⑤/子育①)	▲	●	▲		★	
⑥ 集会所や消防詰所などの施設を整備します。[再掲] (安・安④)	●	▲		★		
⑦ 統一的な景観・街並みづくりの導入を検討します。[再掲] (安・安④/魅力②)	●	●	●		★	
⑧ 定住、新たな人口の流入促進策を検討します。[再掲] (安・安④)	●	●				★
⑨ 震災アーカイブ(記録文書)を作成し、地域の「絆」を再構築し、地域コミュニティの継承を図ります。[再掲] (忘な⑥)	●	●		★		
【情報発信】 震災前の絆を取り戻し、新たなコミュニティを築いていることを地区内外に知らせていきます。	▲	●		★		

分野別の取組み

1 暮らしやすさ

- ①災害公営住宅の環境づくり
- ①移動販売等買い物支援の取組み
- ②バスなどの交通、移動手段の確保
- ③日常生活を支える商業施設など産業確立
- ④自立再建への支援
- ⑥集会所や消防詰所などの整備
- ⑦統一的な景観・街並みづくりの導入を検討

2 コミュニティづくり

- ⑤新たなまちの自治会・隣組の編成
- ⑤既存コミュニティとの交流・連携
- ⑤3地区の連携のさらなる推進

3 情報発信 「暮らしやすさ宣言」

- 区民へ暮らしやすさを説明
- 地区から離れて暮らしている方々への「暮らしやすさ宣言」
- 地区外の方々へ支えあう地域コミュニティ、暮らしやすさをPR



災害公営住宅薄磯団地(H27.2)



ふるさと豊間復興協議会ワークショップ
(H24.12)



毎月発行のかわら版(豊間地区)

これからの主なプロジェクト

取組	1 暮らしやすさ	2 コミュニティづくり	3 情報発信「暮らしやすさ宣言」
プロジェクト	<p>生活/コミュニティ</p>  <p>日々の移動手段や買い物手段を考えよう [②バスなどの交通、移動手段の確保]</p>	<p>生活/コミュニティ</p>  <p>災害公営住宅や高台宅地に新たに 住む方々が隣組や自治会にスムーズに 入れるよう支えよう [⑤既存コミュニティとの交流・連携など]</p>	<p>生活/コミュニティ</p>  <p>とよまの「暮らしやすさ」を アピールしよう</p>

魅力

震災前にも増して、自然に恵まれ、歴史ある地区の魅力を再発見・新発見していきます。

主な取組み

取組み	主体			いつ		
	行政	地区 住民	民間	短期 ~H27	中期 ~H30	長期 H30~
① 海を生かしたまちづくりを推進していきます。	▲	●	●	★		
② 統一的な景観・街並みづくりの導入を検討します。 [再掲] (安・安④/生・コミ⑦)	●	●	●	★		
③ 地域の文化資源などを大事に保存しながら、活用していきます。[再掲] (忘な⑦)	●	●		★		
④ 展望台やイベント会場など新たなスポットの整備を検討し、イベントを開催することで、魅力やにぎわいを生み出します。[再掲] (忘な④)	●	●	●	★		
⑤ 防災緑地内で、地区内外の人々が楽しめる工夫をします。	●	▲		★		
⑥ 市民農園やレンタル畑の地区内整備を検討します。	▲	●	●	★		
⑦ 太陽光発電の積極的導入などにより、環境にやさしい先進的なまちづくりを目指します。	●	●	●	★		
⑧ 大人も子どももとよまの歴史や文化・伝統などを学ぶ、「とよま学校プロジェクト」を検討します。	▲	●	▲	★		
⑨ 地域の魅力を高めるための体制づくりを行います。	▲	●	▲	★		
【情報発信】 震災前にも増して、自然に恵まれ、歴史ある地区の魅力を地区内外に知らせていきます。	▲	●		★		

分野別の取組み

1 暮らしのなかの楽しみ

④各種イベントなどの開催

⑤防災緑地の活用

⑥市民農園などの検討

3 情報発信 「とよま魅力宣言」

○区民がとよまの魅力を発見

○地区外の方々へ震災前にも増したとよまの魅力をPR

○地区から離れて暮らしているの方々へ「とよま魅力宣言」

2 新しい魅力をつくる・見つける

①海を活かしたまちづくり

②統一的な景観・街並みづくりの導入を検討

③地域資源・文化の活用の再検討

④新たなイベントスポットの整備

⑦環境にやさしいまちづくり

⑧とよま学校プロジェクトの検討

⑨魅力を高めるための体制づくり

○私たちがこの震災を乗り越えること自体も地区の一つの魅力にしよう！



薄磯地区土地区画整理事業(H26.12)



豊間地区土地区画整理事業(H26.12)



沼ノ内鎮守諏訪神社の獅子祭典(H25.8)

これからの主なプロジェクト

取組	1 暮らしのなかの楽しみ	2 新しい魅力をつくる・見つける		3 情報発信「とよま魅力宣言」
プロジェクト	<p>魅力</p>  <p>新たな交流や生きがいの場を考えよう [④各種イベントなどの開催など]</p>	<p>魅力</p>  <p>海を活かしたまちづくりを考えよう</p>	<p>魅力</p>  <p>災害に強く、魅力ある景観づくりを考えよう [②統一的な景観・街並みづくりの導入を検討]</p>	<p>魅力</p>  <p>とよまの魅力を地区内外の方々へ発信しよう</p>

忘れない

辛い震災を乗り越え、私たちの体験を、決して忘れずに、全国に、後世に伝えます。

主な取組み

取組み	主体			いつ		
	行政	地区 住民	民間	短期 ~H27	中期 ~H30	長期 H30~
① 被災された方々の心を尊重しながら、慰霊碑等の設置について検討していきます。	●	●		★		
② 防災教育の導入に取り組みます。	●	●		★		
③ 震災語り部の育成により、防災教育旅行への対応や、震災のことを後世に語り継ぎます。 [再掲] (産・雇⑥)	●	●	▲	★		
④ 慰霊祭などの式典や、復興祭などのイベントを開催します。[再掲] (魅力④)	▲	●	▲	★		
⑤ 震災の記録と記憶を伝える展示館などの“伝承の場”について検討します。	●	●		★		
⑥ 震災発生時から地区が復興するまでの記録をまとめます。(震災アーカイブ) [再掲] (生・コミ⑨)	●	●	▲	★		
⑦ 古くからの地域の歴史と文化、地域の暮らしなどを伝えていきます。[再掲] (子育③/魅力③)	▲	●		★		
【情報発信】 震災での経験、震災からの復興の歩みを決して忘れず、全国に、後世に語り継いでいきます。	▲	●		★		

分野別の取組み

1 震災の経験を忘れない

①慰霊碑等の設置の検討

②防災教育の導入検討

③震災語り部による震災風化の防止

④慰霊祭や復興祭の開催

⑤震災を伝える“伝承の場”の設置

⑥震災からの復興の記録の作成

○私たちが体験したことを伝えることで、次の災害の備えとしてもらうことが、多くの方々からの支援への恩返しになります。

2 地域の歴史や文化を忘れない

⑦とよま学校プロジェクトの検討

3 情報発信 「震災からの復興宣言」

○区民へ震災の記録を説明

○地区から離れて暮らしている方々への「とよま復興宣言」

○地区外の方々へ震災の経験と復興へ向けた活動をPR



春の例大祭 沼ノ内神輿(H26.5)



春の例大祭 豊間神輿(H26.5)



春の例大祭 薄磯神輿(H26.5)

これからの主なプロジェクト

取組	1 震災の経験を忘れない	2 地域の歴史や文化を忘れない	3 情報発信 「震災からの復興宣言」	
プロジェクト	<p>忘れない</p>  <p>震災を伝える“伝承の場”の設置を考えよう</p>	<p>忘れない</p>  <p>新しい祭り（復興祈念祭、震災慰霊祭）を考えよう [④慰霊祭や復興祭の開催]</p>	<p>忘れない</p>  <p>とよまの歴史、文化、伝統を勉強しよう 何歳でも入学できます [⑦とよま学校プロジェクトの検討]</p>	<p>忘れない</p>  <p>とよまの震災からの復興を宣言しよう</p>

これから、みんなでまちづくり

はじめに取り組む、海まち・とよまの 12 の提案・プロジェクト

提 案

01

地区内外の方々へ、とよまの「安全・安心」をどのように伝えていくか考えよう！

07

災害公営住宅や高台宅地などに新たに住む方々が、隣組や自治会にスムーズに入れるよう支え合おう！

02

地域を守る組織づくり&高齢者・子どもを地域で見守る環境づくりを考えよう！

08

バスなどの移動手段&買い物の手段など、毎日が暮らしやすい生活環境づくりを考えよう！

03

とよまの魅力を活かした安全・安心で充実した子育て環境をつくろう！

09

とよまのみんなが絆を深め元気で仲良く暮らせるような新たな交流&生きがいの場を考えよう！

04

とよまの伝統産業/水産加工場や、日々の生活を支える商業施設などを応援しよう！

10

災害に強いまちづくり&魅力ある景観づくりの導入を考えよう！

05

3地区共通のロゴを積極的に活用しよう！

11

新しい祭り（復興祈念祭、震災慰霊祭）を考えよう！

06

「とよまの海」の魅力を再確認&活用&みんなにPRしよう！海水浴、サーフィン、鳴き砂など

12

とよまの歴史・文化・暮らしを後世へ伝えるための地域誌をつくろう！

提案・プロジェクトを実現するために

1

とよま地区復興未来計画から生まれた12の提案・プロジェクトに興味を持ったものはありましたか？

これらの提案・プロジェクトを実際に、かたちにしていくためには、皆さんの参加と協力が必要です。

まちづくりは、地区住民と行政、民間が協力して、地道な活動の末に達成できるものです。

この冊子を見て、興味のある提案があったら、「プロジェクト参加申込書」を切り取って、お気軽に

①区長さん（沼ノ内・薄磯・豊間） ②豊間公民館（事務局）

のいずれかにご提出ください。よろしくお願ひします。

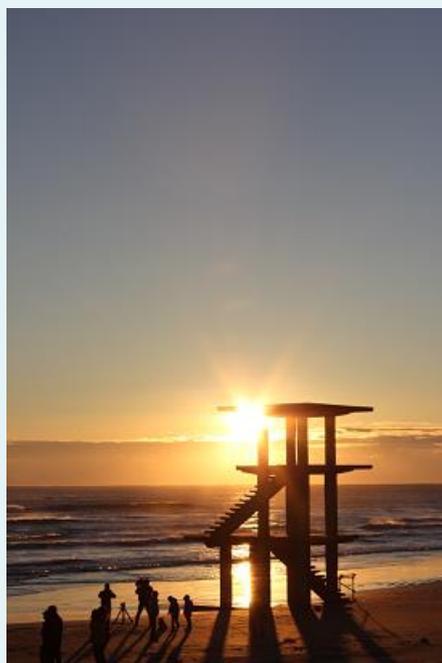
※具体的な活動としては、月1～2回程度の活動を想定しています。

2

- ①できない理由探しではなく、できるための条件を探しましょう。
- ②「できることから始めよう」⇒「できることを広げよう」
- ③「～しなければならない」ではなく、「～しよう」型で取り組もう。
- ④「実現できる、実現できない」を決めることが目的ではありません。
- ⑤自分も、みんなも笑顔になる活動をしよう！



塩屋埼灯台から望む豊間漁港(H26.5)



薄磯海岸の日の出
(H25.1)

<海まち・とよま市民会議メンバー 一覧>

【役 員】

会 長 瀬谷 貢一（薄 磯）
副 会 長 矢吹 重樹（豊 間）
副 会 長 比佐 努（沼ノ内）
事務局長 鈴木 勝（薄 磯）

【委 員】（五十音順）

阿部 栄治（薄 磯） 遠藤 靖典（豊 間）
大河内喜男（薄 磯） 折内 亮介（沼ノ内）
志賀 秀範（豊 間） 志賀 文彦（豊 間）
四家 啓一（豊 間） 鳥居 吉治（薄 磯）
宮澤 誠（薄 磯） 室谷 和範（薄 磯）
山野辺 諭（沼ノ内）

----- キリトリ -----

プロジェクト参加申込書

フリガナ	
申請者氏名	
住 所	
連 絡 先	
取り組みたい提案	
その他(意気込みなど)	

参考資料

＜海まち・とよま市民会議 開催概要＞

回数	開催日	主 な 議 題
準備会	平成 25 年 8 月 30 日	市民会議発足
第 1 回	平成 25 年 9 月 12 日	現状と課題について
第 2 回	平成 25 年 9 月 19 日	まちづくりの目標決定
第 3 回	平成 25 年 10 月 10 日	市民会議の名称について
第 4 回	平成 25 年 10 月 23 日	市民会議の名称・役員決定
第 5 回	平成 25 年 11 月 14 日	震災遺構/災害公営住宅への入居・買い物について
第 6 回	平成 25 年 11 月 28 日	地区のメモリアル/資源について
第 7 回	平成 25 年 12 月 12 日	子どもの安全・安心/今後の進め方について
第 8 回	平成 25 年 12 月 26 日	ランドデザイン（安全・安心/子育て）
第 9 回	平成 26 年 1 月 16 日	ランドデザイン（産業雇用/暮らし）
	平成 26 年 1 月 28 日	3 区ヘランドデザイン中間報告会
第 10 回	平成 26 年 1 月 30 日	ランドデザイン（魅力/忘れない）
第 11 回	平成 26 年 2 月 1 3 日	ランドデザイン（安全・安心/子育て）
第 12 回	平成 26 年 2 月 2 7 日	全体構成・個別プロジェクト等（1 回目）
第 13 回	平成 26 年 3 月 1 3 日	全体構成・個別プロジェクト等（2 回目）
第 14 回	平成 26 年 3 月 2 7 日	ランドデザイン（素案）について
第 15 回	平成 26 年 4 月 10 日	新体制/個別プロジェクト（ロゴ）
第 16 回	平成 26 年 4 月 24 日	個別プロジェクト（ロゴ）/防災緑地について
第 17 回	平成 26 年 5 月 7 日	個別プロジェクト（ロゴ）/仮設店舗について
第 18 回	平成 26 年 5 月 22 日	個別プロジェクト（子育て/情報発信）
第 19 回	平成 26 年 6 月 12 日	個別プロジェクト（子育て/情報発信）
	平成 26 年 6 月 26 日	3 区ヘランドデザイン現況報告会
第 20 回	平成 26 年 7 月 10 日	個別プロジェクト（ロゴ/新イベント）
第 21 回	平成 26 年 7 月 24 日	個別プロジェクト（ロゴ/子育て/新イベント）
第 22 回	平成 26 年 8 月 7 日	個別プロジェクト（子育て・新イベント）
第 23 回	平成 26 年 8 月 28 日	個別プロジェクトの現況確認/今後の進め方について
第 24 回	平成 26 年 9 月 11 日	個別プロジェクト（ロゴ/子育て/新イベント）
第 25 回	平成 26 年 10 月 9 日	個別プロジェクト（ロゴ/子育て）
第 26 回	平成 26 年 10 月 23 日	個別プロジェクト（ロゴ/子育て）
第 27 回	平成 26 年 11 月 6 日	個別プロジェクト（ロゴ/子育て）
	平成 26 年 11 月 20 日	3 区ヘランドデザイン現況報告会
第 28 回	平成 26 年 12 月 11 日	個別プロジェクト（ロゴ/子育て）/会則の改正について
第 29 回	平成 27 年 1 月 15 日	個別プロジェクト（子育て）/取組内容の修正について
第 30 回	平成 27 年 2 月 12 日	ランドデザイン取組内容の修正について
第 31 回	平成 27 年 2 月 26 日	ランドデザイン取組内容の修正について
第 32 回	平成 27 年 3 月 12 日	新年度の運営体制/メンバー拡大について
	平成 27 年 3 月 26 日	3 区ヘランドデザイン（案）報告会



とよま地区復興未来計画 平成27年5月
海まち・とよま市民会議
いわき市